

# 不法投棄防止のパトロール実施

## 計770kgの廃棄物を撤去

（一社）和歌山県産業資源循環協会（須磨徳裕会長）は10月17日、和歌山市内一円で「不法投棄防止巡回パトロール」を実施した。同協会の収集運搬部会に

おいて、同市内を中心にパトロールを行い、不法投棄物を発見した場合には可能な範囲で撤去。協会員や行政関係者ら22人が参加し、計約770kgの廃棄物を撤去した。

当日は、和歌山城砂の丸広場に集合し、和歌山北高等学校西校舎から森林公園の道沿い空き地や斜面で廃棄物を収集。その後、青岸エネルギーセンターに撤去廃棄物を搬入する流れで巡回パトロールを行った。2トントラック1台、軽ダンプ車2

台、軽トラック2台、乗用車4台の計9台の車両を使用した。車両には、「不法投棄巡回パトロール」協会の名が入った横断幕やマグネット看板を装着した。撤去した廃棄物の種類は、▽ガードレール▽ソファ▽冷蔵庫▽テレビ▽レンジ▽タイヤ▽蛍光灯▽PETボトル▽空き缶・空き瓶▽木くず▽金属くず▽ガラスくず▽その他可燃ごみ―となった。

この取り組みは、和歌山県の条例に基づき「わかやまごみゼロ活動」として認定されている。環境保全活動など地域社会への貢献事業に継続して取り組み、業界の認知度向上につなげている。

同協会は、「不法投棄の撲滅や市民の遵法精神の高揚を目指し、巡回パトロールを継続的に実施している」とした。



作業の様子



撤去した廃棄物

青岸エネルギーセンターに撤去廃棄物を搬入する流れで巡回パトロールを行った。2トントラック1台、軽ダンプ車2